

平成 30 年度

大学院生募集要項

博士後期課程

試験日 平成 29 年 10 月 7 日(土)

沖縄県立看護大学大学院
保健看護学研究科

保健看護学研究科の教育理念と教育目標

高い見識と専門的知識・技術・態度で高度な保健看護を立案、実施、評価できる看護実践者、行政・経営・管理面における看護専門職者及び教育者、研究者の果たす役割は近年増大しています。

本研究科は、グローバル化時代と少子・高齢化社会、高度に専門・分化した保健医療福祉サービス体制の中で、社会の要請に対応できる専門職業人のリーダーの養成を目指しています。高度な保健看護を実践できる実践家、特に沖縄県の特殊性を踏まえ、離島・過疎地医療、救急医療、生涯にわたる健康教育や健康管理に有用性を発揮しつつある通信・遠隔情報システムに対応できる知識と技術を備えた実践家（遠隔看護）、看護管理者、学習や教育の原理を統合して看護教育に応用できる教育者、研究活動により新しい看護知識の創出に貢献できる研究者、保健看護活動と新しい学問の創出に貢献できる人材の養成を目指しています。なお、本学では有職者にも就学しやすい教育の場を提供するため、大学院設置基準第14条特例により、夜間その他特定の時間又は時期において授業や研究指導を行うことができるようになっています。

博士前期課程では、広い視野に立って保健看護の立場から高度なケアの実践や教育のできる専門的能力を養う、または学識を深めることによって研究能力を養うことを目標とします。

博士後期課程では、看護分野における研究者として自立した研究活動を行うのに必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目標とします。

保健看護学研究科のアドミッション・ポリシー

博士後期課程では次のような資質と能力、意欲を持った学生を求めています。

1. 博士前期課程修了あるいはそれと同等の専門知識や技術を持つとともに、後期課程での研究に取り組む準備ができている方
2. 上級看護実践家、看護教育者、看護研究者として社会に貢献しようという意欲を持った方
3. 新たな学際的研究分野を開拓し、新しい学問を構築していける高い能力と意思を持った方
4. 大学院設置基準第14条適用学生として就学を希望する場合は、仕事とのバランスを保って学業の課題を遂行できる方

なお、本学ではプライバシーポリシーを定め、入学手続きの際や在学中および卒業・修了時に提出いただく個人情報の利用目的を明らかにしています。（別紙1参照）

保健看護学研究科 博士後期課程

1 募集人員及び分野・領域・専門科目

分野	領域	専門科目	募集人員
文化間保健看護	保健看護管理・教育	保健看護管理、保健看護教育	2名
	地域・精神保健看護	地域保健看護、精神保健看護	
生涯発達保健看護	母性・小児保健看護	母性保健看護、小児保健看護	
	成人・老年保健看護	成人保健看護、老年保健看護	
先端保健看護	新領域保健看護	新領域保健看護	
	島嶼保健看護	島嶼保健看護	

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 看護系大学（短期大学を除く）を卒業し、看護系博士前期課程（修士）を修了した者又は平成30年3月までに修士の学位を取得見込みの者
- (2) (1)以外の者で、看護の免許を有し、修士の学位を有する者又は平成30年3月までに修士の学位を取得見込みの者
- (3) 看護系の大学院博士前期課程（修士）を修了した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者(※)
- (4) 外国において修士に相当する課程を修了し、修士に相当する学位を有する者又は平成30年3月までに修士に相当する学位を取得見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）

※(3)により出願しようとする場合は、出願資格審査申請書(1)、(2)、最終学校の卒業証明書及び成績証明書（厳封）を添えて提出し、事前に出願資格認定の審査を受けなければならない。

なお、昨年度に申請し、「受験可」となった方は、今年度新たに申請する必要はありません。

出願資格審査申請書等提出期限：平成29年9月1日（月）17:00【必着】

出願資格審査結果の通知：平成29年9月15日（金）【郵送】

3 出願手続

(1) 出願期間

- ア 期 間 : 平成29年9月15日(金)～9月29日(金) 【必着】
 イ 出 願 先 : 沖縄県立看護大学 事務局 学務課 入試担当

(2) 出願方法

- ア 出願者は、平成29年9月13日(水)までに必ず「教育研究分野・領域の概要(博士後期課程)」参照のうえ、志望する専攻分野の研究指導教員に今後の研究・教育について相談して下さい。なお、その際は必ず学務課入試担当を通して連絡を取って下さい。
 電話098-833-8800(学務課 入試担当)
 イ 出願者は、出願書類等を一括して本学所定の出願用封筒に入れ、「直接持参」又は「書留速達郵便」により提出する。
 ウ 直接窓口を持参する場合は、上記出願期間中の土日・祝祭日を除く平日の午前9時から午後5時まで(正午から午後1時までを除く)受付ける。

(3) 出願書類

A	入学志願票・受験票(本学所定用紙)
B	修士課程成績証明書(最終出身大学長が作成、厳封したもの)
C	修士課程修了(見込)証明書または学位授与機構の学位授与証明書
D	博士後期課程で行いたい研究の抱負(所定様式)
E	研究業績調書(本学所定用紙)
F	履歴書(本学所定用紙)
G	修士論文要旨(任意の書式)但し修士論文要旨がない場合は、これに代わる論文
H	受験票送付用封筒(※宛名を明記し362円切手貼付)・連絡用宛名票
I	入学考査料 30,000円(※郵便為替を同封)

※出願資格の証明書と「入学志願票・受験票」の氏名が不一致の場合は、改氏名を証明するもの(戸籍抄本等)を添付すること。

※出願資格(3)の者はB,Cは不要。

4 試験日時

日 時	平成29年10月7日(土)9時00分から【予備日】平成29年10月14日(土)9時00分から
試験会場	沖縄県立看護大学内

※台風等による不測の事態により試験を延期する場合は予備日に実施する。なお、その場合は、合格発表及び入学手続き等の期日はそれぞれ2週間後に設定するものとし、後日通知する。

5 試験科目及び配点

期 日	試験科目	時 間	配 点	試験会場
10月7日(土)	英 語	9:00～10:00(60分)	100	沖縄県立看護大学内
	共通科目	10:10～11:10(60分)	100	
	専門科目	11:30～12:30(60分)	100	
	面 接	13:30～	100	

(1) 英語(※辞書1冊持ち込み可、電子辞書不可)

(2) 専門科目は、自分の志願する下記科目の中から1科目を選択し受験すること。

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| ア 保健看護管理 | イ 保健看護教育 | ウ 地域保健看護 |
| エ 精神保健看護 | オ 母性保健看護 | カ 小児保健看護 |
| キ 成人保健看護 | ク 老年保健看護 | ケ 新領域保健看護 |
| コ 島嶼保健看護 | | |

6 選 抜 方 法

- (1) 入学者の選抜は学力試験、面接及び出願書類を総合的に判定して行う。

7 合 格 発 表

- (1) 平成 29 年 10 月 20 日（金）14 時から本学構内及びホームページにて掲示する。（可否は本人宛書面通知）

注）電話等による問い合わせには一切応じない。

8 入 学 手 続

- (1) 入学手続期間：平成 29 年 10 月 20 日（金）～11 月 2 日（木）【必着】
- (2) 合格者は、上記の入学手続期間内に合格通知書とともに送付する入学手続きに必要な書類を提出しなければならない。
- (3) 大学院設置基準第 14 条の適用を受け入学する有職者は、所属長の承諾書を提出しなければならない。
- (4) 長期にわたる教育課程の履修（長期履修）を希望する者は、別途、長期履修申請の手続きを行うこと。（別紙 2 参照）

9 入 学 料 ・ 授 業 料

- (1) 入学料 県内居住者 282,000 円 その他の者 512,000 円
- (2) 授業料 年額 535,800 円（長期履修学生については、年額 401,850 円）

※県内居住者とは、次の各号のいずれかに該当する者をいう。

ア 本人が平成 29 年 4 月 1 日以前から引き続き県内に住所を有する者

イ 本人の配偶者又は 1 親等の親族が平成 29 年 4 月 1 日以前から引き続き県内に住所を有する者

- (3) 入学料については入学手続期間内に納入しなければならない。なお、授業料については入学後、前期(4 月)、後期(10 月)に分けて徴収する。

※在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用される。

10 注 意 事 項

- (1) 一度提出した書類並びに入学考査料は返却しない。
- (2) 提出書類に虚偽の記載があった場合は、合格発表後においても入学許可を取り消すことがある。
- (3) 出願に関する問い合わせ先：沖縄県立看護大学 事務局 学務課 入試担当

〒902-8513 沖縄県那覇市与儀 1 丁目 24 番 1 号

T E L : 098-833-8800

F A X : 098-833-5133

(別紙 1)

入学手続きの際や在学中および卒業・修了時に提出いただく個人情報の利用目的

- 1 学籍管理及び学籍の異動管理
- 2 学籍・異動、履修成績、証明書、調査、学生証等の帳票作成及び集計、本人への送付・連絡
- 3 履修成績表の保証人への送付
- 4 就職関係情報の管理
- 5 学費情報の管理、帳票の作成及び送付・連絡
- 6 図書館利用資格の確認及び送付・連絡
- 7 学内情報ネットワーク利用資格の確認及び利用者サービスの実施
- 8 奨学金業務に関連する資料作成、また本人への連絡
- 9 学生の健康管理に関する資料の作成・保管
- 10 本学・後援会・同窓会からの広報誌（紙）の送付
- 11 納付金、募金依頼関係書類の送付
- 12 卒業生・修了生データの作成・管理
- 13 後援会、同窓会等（学生生活の支援及び会員相互の親睦と福祉を図るとともに、本学の発展に寄与することを目的として設立されたもの）、本学と密接な関係を持つ団体への連絡先情報の提供
- 14 その他、本学・後援会・同窓会からの連絡

(別紙 2)

○沖縄県立看護大学大学院長期履修規程

(平成 21 年 2 月 18 日研究科委員会決定)

(平成 25 年 3 月 19 日研究科委員会改正)

(趣旨)

第 1 条 この規程は、沖縄県立看護大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第 29 条の 2 の規定に基づき、沖縄県立看護大学大学院における長期にわたる教育課程の履修（以下「長期履修」という。）に関し、必要な事項を定める。

(対象者)

第 2 条 長期履修を希望することができる者は、本学大学院博士前期課程又は博士後期課程の第 1 年次に入学する者で、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 職業を有している者
- (2) 育児、親族の介護等の特別の事情のある者
- (3) その他やむを得ない事情を有し、修業年限で修了することが困難な者

(申請手続)

第 3 条 長期履修を希望する者は、次に掲げる書類を添えて、入学手続期間内に学長に願い出るものとする。

- (1) 長期履修申請書（様式第 1 号）
- (2) 在職証明書（職業を有している人）（様式第 2 号）
- (3) 長期履修申立書（特別の事情のある人）（様式第 3 号）

(承認)

第 4 条 長期履修の承認は、研究科委員会の議を経て学長が行なう。

- 2 学長は、前項の規定により長期履修を承認したときは、長期履修承認書（様式第 4 号）により長期履修を承認された者（以下「長期履修学生」という。）に通知するものとする。

(長期履修期間)

第 5 条 長期履修の期間は、博士前期課程は 3 年、博士後期課程は 4 年とする。

(履修期間短縮)

第 6 条 長期履修学生が長期履修期間の短縮を希望する場合は、短縮された場合に修了を予定する年度の前年度の 2 月 1 日から 2 月末日までの間に、学長に長期履修期間短縮申請書（様式第 5 号）を提出する。

- 2 長期履修期間の短縮期間は、年を単位とする。
- 3 長期履修期間の短縮の承認は、研究科委員会の議を経て、申請のあった年度内に学長が行なう。
- 4 学長は、前項の規定により長期履修期間の短縮を承認したときは、長期履修期間短縮承認書（様式第 6 号）により長期履修期間の短縮を承認された者に通知するものとする。

(履修)

第 7 条 長期履修学生は、履修計画及び研究計画に従い、計画的な履修を行わなければならない。

(授業料)

第 8 条 長期履修学生の授業料の年額は、別に定めるところによる。

(その他)

第 9 条 この規程に定めるもののほか、長期履修学生に関し必要な事項は、研究科委員会の議を経て、学長が別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この規程の施行後最初に大学院博士前期課程に入学する者が長期履修を希望する場合の申請手続は、第 3 条の規定にかかわらず 4 月 1 日以後に行うものとする。

附 則

- 1 この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この規程の施行後最初に大学院博士後期課程に入学する者が長期履修を希望する場合の申請手続は、第 3 条の規定にかかわらず 4 月 1 日以後に行うものとする。

沖縄県立看護大学大学院 保健看護学研究科

博士後期課程の概要

修業年限 3年

ただし、長期にわたる教育課程の履修の期間は4年とする。

授業時間 8時40分から17時30分まで

ただし、大学院設置基準第14条適用学生に対する特例として、
17時40分から20時50分まで、及び休日にも授業を行う。

学 位 修了した者には、博士（看護学）を授与する。

教育科目の構成－博士後期課程

必修 選択	科 目 名 (単位)	
必修	コア 科目	継続保健看護教育Ⅱ(2) 保健看護と研究Ⅱ(研究デザイン編)(2) 保健看護と研究Ⅱ(執筆編)(2)
分野 必修	文化間 保健看護	保健看護管理・教育特論Ⅱ(2) 保健看護管理・教育特別研究Ⅱ(8)
	地域・ 精神保健看護	地域・精神保健看護特論Ⅱ(2) 地域・精神保健看護特別研究Ⅱ(8)
	生涯 発達保健看護	母性・小児保健看護特論Ⅱ(2) 母性・小児保健看護特別研究Ⅱ(8)
	成人・ 老年保健看護	成人・老年保健看護特論Ⅱ(2) 成人・老年保健看護特別研究Ⅱ(8)
	先端 保健看護	新領域保健看護特論Ⅱ(2) 新領域保健看護特別研究Ⅱ(8)
	島嶼 保健看護	島嶼保健看護特論Ⅱ(2) 島嶼保健看護特別研究Ⅱ(8)
選択科目		疫学と保健統計Ⅱ(2) ヘルスプロモーション・健康教育Ⅱ(2)

修了要件1：博士後期課程を修了するために修得すべき単位数は20単位以上（博士論文を含む）である。
 （内訳：必修コア科目6単位以上、分野必修科目12単位〔属する領域10単位、他の分野領域2単位〕、選択科目2単位以上）

修了要件2：看護系以外の博士前期課程の修了者は20単位に加えて、博士前期課程の特論Ⅰから2単位、コア科目と選択科目から6単位以上の小計8単位以上とし、合計28単位以上履修する。

教育研究分野・領域の概要（博士後期課程）

分野	領 域	概 要
文化 間 保 健 看 護	保健看護 管理・教育	<p>文化間保健看護の立場から、特定「文化」の枠組に基づき国境を越えて個人、地域、国レベルで健康上の問題解決、新しい保健看護管理の探求、また、通文化的、あるいは特異的ヘルスケア評価、公的サービスと調整、看護ケアのコスト及びコスト効果分析（ケアの結果と質の測定）など高いレベルの分析・評価と対応策を探求する。</p> <p>保健看護実践及び教育が多様な文化の影響を受けながら発展すると共に、文化へも影響を与えることを前提にした広い視野を持つ、高いレベルの保健看護教育の実践者および看護学の発展に寄与する人材育成に関する理論を探求する。</p> <p>■担当教員／◎嘉手苺英子、宮城恵子</p>
	地域・精神 保健看護	<p>上級管理者など、より高度な立場から実践活動に従事、複雑な研究テーマへの取り組み、博士前期課程の教育を行う教育者、あるいは自立した研究者として新たな学問的発展を図る。</p> <p>文化的枠組みで人々のメンタルヘルスとリスク者や集団のために法律・政策、条例の制定などにより高度な学術的観点から提言、同時にこの分野の教育者、あるいは自立した研究者として新たな学問的発展を図る。</p> <p>■担当教員／川崎道子、大湾明美、新城正紀</p>
生 涯 発 達 保 健 看 護	母性・小児 保健看護	<p>母性保健看護及び助産に関して、生涯発達の視野に立ち課題を見つけ、実践・分析、評価、統合し、知見創出により実践的及び教育的、学術的に母性の健康と看護学の発展を図る。</p> <p>子どもと家族の健康上の課題の解決に既存の研究成果を応用、新たな研究課題の発見、計画・実施・評価し、新しい実践的、学術的、教育的貢献を図る。</p> <p>■担当教員／◎永島すえみ</p>
	成人・老年 保健看護	<p>特に遠隔教育などの積極的活用によって他職種と連携し、上級管理職のレベルで医療・保健機関の管理、教育的機関での教育研究活動、また、複雑なケース・マネジメントの実践、高度な学術的、教育的貢献を図る。</p> <p>高齢者のケアの質とQOL向上に向けて年代、時代にふさわしい新たな研究と知の創造をめざし看護職の立場から方法、技法の開発、実践現場への支援、自立した教育研究による学術的な貢献を図る。</p> <p>■担当教員／◎神里みどり、◎大湾明美、山本敬子</p>
先 端 保 健 看 護	新領域保健看護	<p>保健看護上に新たに生じた課題を解決するために学際的、国際的に必要な情報を収集・分析し、課題解決の計画、実施、評価を行い看護実践における質の向上を図る。また、各領域に共通する新たな課題を見つけ解決する先端的研究方法の開発及び教育的貢献によって人々の健康上の新たなニーズへの対応策を探求する。</p> <p>■担当教員／◎神里みどり、◎金城芳秀</p>
	島嶼保健看護	<p>島嶼看護上に新たに生じた課題を解決するために学際的、国際的に必要な情報を収集・分析し、課題解決の計画、実施、評価を行い島嶼看護実践における質の向上を図る。また、台湾等太平洋の島々ならびにハワイ・カウアイ島における地域文化保健看護に関する課題を見つけ解決する方法および教育的貢献によって人々の健康上のニーズに対する新たな対応策について探求する。</p> <p>■担当教員／◎大湾明美、◎神里みどり</p>

※ ◎は研究指導教員です。

平成30年度 沖縄県立看護大学大学院
保健看護学研究科保健看護学専攻博士後期課程入学志願票

フリガナ			男		※	
氏名			・	受験番号	院	
生年月日	昭和・平成 年 月 日生		女			
志願 専門科目 <small>(一つ選び()内に○ を記入してください)</small>	分野	領域	専門科目			
	文化間保健看護	保健看護管理・教育 地域・精神保健看護	()保健看護管理 ()地域保健看護	()保健看護教育 ()精神保健看護		
	生涯発達保健看護	母性・小児保健看護 成人・老年保健看護	()母性保健看護 ()成人保健看護	()小児保健看護 ()老年保健看護		
	先端保健看護	新領域保健看護 島嶼保健看護	()新領域保健看護 ()島嶼保健看護			
出願資格 <small>(該当する資格 欄の番号を○ で囲んでくだ さい)</small>	1	() 大学 () 学部 () 学部 昭和・平成 年 月 卒業 () 大学大学院(修士・博士前期課程) () 研究科 () 専攻 昭和・平成 年 月 修了見込・修了				
	2	学位授与機構 修士 () 平成 年 月 取得				
	3	本学出願資格審査による認定 平成 年 月				
	免許取得年月 看護師 年 月 保健師 年 月 助産師 年 月 <small>(免許番号)</small> () () ()					
本人	本籍地 (都道府県名・外国人出願者は国籍を記入)					
	フリガナ	〒				
	現住所	[電話 () -]				
フリガナ	〒					
連絡先 <small>(現住所と違う 場合のみ記入)</small>	[電話 () -]					
※						

写真貼付 <small>(縦4cm×横3cm) 受験票に貼り付 けた写真と同じもの</small>	※ 入学審査料 領収印
---	--------------------------

(切り離さないこと)

平成30年度 沖縄県立看護大学大学院
保健看護学研究科博士後期課程受験票

フリガナ			男		※	
氏名			・	受験番号	院	
専攻	保健看護学専攻	志望領域 <small>(専門科目)</small>	()			
※						写真貼付 <small>(縦4cm×横3cm) 志願票に貼り付 けた写真と同じもの</small>
						入学審査料 領収印

- 注1) ※欄は記入しないでください。
注2) 志願する専門科目まで記入してください。

1. 試験期日及び時間

月 日	科目名	時間
平成29年10月7日(土)	英語	9:00~10:00
	共通科目	10:10~11:10
	専門科目	11:30~12:30
	面接	13:30~

2. 合格発表

平成29年10月20日(金) 14:00~

3. 注意事項

- (1) 試験当日はこの「受験票」を必ず持参すること。
- (2) 10月7日(土)は、8:00から8:30までに受付を終了すること。また、8:30までに試験会場に集合すること。
- (3) 面接の集合時間は、試験当日(10月7日)に指示する。

試験会場

沖縄県立看護大学
沖縄県那覇市与儀1-24-1
TEL:098-833-8800

交通案内

1. タクシー利用(那覇空港~本学) 所要時間約30分、料金約1,200円。
2. モノレールとバスの併用利用
 - 1) モノレール<那覇空港~旭橋駅>
那覇空港より沖縄都市モノレール(ゆいレール)で旭橋駅下車。
モノレール所要時間11分(10分間隔)、料金260円。
上泉停留所まで徒歩約7分。
 - 2) バス
 - ①<上泉~本学>
2, 4, 14, 35, 40, 109, 235番に乗車、「県立看護大学前」下車。
バス所要時間約15分、料金230円。
 - ②<上泉~与儀十字路>33, 34, 37, 38, 39, 41, 46, 50, 51, 53, 54, 83, 89, 100番に乗車、「与儀十字路」下車。本学まで徒歩約5分。
バス所要時間約18分、料金230円。

博士後期課程で行いたい研究の抱負

フリガナ	
氏名	

※院

(30字×27行)

--

(注) 810字以内で記入すること (ワープロ可)

※印欄は記入しないでください。

フリガナ	
氏 名	

※ 院

履 歴 書		
学 歴 (高等学校以上)	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
実務経験 〔職歴、研究生等の研究歴を含む〕	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	

注1) 黒のボールペンで丁寧に記入すること。

注2) ※印欄は記入しないでください。

受験番号	※ 院
------	-----

研究業績調書

氏名 _____

論文等名称	共著者名又は共同発表者名	発行又は発表年月日	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	論文の概要及び本人の役割 (200字以内にまとめてください。)

※印欄は記入しないこと

平成30年度 沖縄県立看護大学大学院
保健看護学研究科博士後期課程の出願資格審査申請書(1)

(フリガナ)		男 ・ 女	※整理番号				
氏名			※認定の可否		※認定番号		
生年月日	昭和・平成	年	月	日	本籍(国籍)	都道府県	
履歴事項 (高等学校以上)	学歴	年	月	～	年	月	
		年	月	～	年	月	
		年	月	～	年	月	
		年	月	～	年	月	
		年	月	～	年	月	
	実務経験 (職歴、 研究生等の 研究歴を含む)	期	間	勤務先・所属		具体的な職名とその勤務内容	
		年	月				
		年	月				
		年	月				
		年	月				
年		月					
年		月					
免許・資格等	(免許番号)						
	(免許番号)						
	(免許番号)						
	(免許番号)						
	(免許番号)						
	(免許番号)						
	(免許番号)						
連絡先住所	〒						
電話	電話()						

- (注) 1. 性別は該当する事項を○で囲むこと。
 2. ※欄は記入しないこと。
 3. 履歴事項欄が不足する場合、別紙として添付すること。
 4. 入学者選抜試験の結果、合格者となった場合は、本申請書の実務経験欄に記載した経歴について、所属長の証明書を求めることもあるので、記載に当たっては正確を期すこと。
 記載内容が証明書と相違する場合は、合格を取り消すことがある。
 5. 出願資格審査申請書(2)、最終学校の卒業証明書及び成績証明書を添えて提出して下さい。

〔出願資格審査希望者用〕
〔提出期限：平成29年9月1日〕

平成30年度 沖縄県立看護大学大学院
保健看護学研究科博士後期課程の出願資格審査申請書(2)

(フリガナ) 氏名	男・女	※整理番号	
		生年月日	
I 申請理由			
II これまでの主な教育研究活動とそのテーマについて、記述して下さい。			

(注) ※欄は記入しないこと。

